



茨木市立福井小学校

令和元年（2019年）12月18日

福井だより

福井から未来へ！

校長 吉田 明弘

スマイル(人権)週間の取り組みの様子を紹介します。

前回お知らせしましたように、スマイル週間では様々な取り組みを行ってきました。その一部(絵画・標語・感想文)を紹介します。

◎人権発表会

◇人権標語

(1年)

かなしいな けんかしたから ごめんねと
ありがとう ともだち いっぱいうれしいな

(2年)

どうしたの なんでもきくよ そのきもち
いいんだよ ないてもいいよ だいじょうぶ

(3年)

せかいのね みんながわらえば 幸せだ
ありがとう 一人じゃないから 楽しめる

(4年)

戦争の たまごは うまないで
教えてよ 泣いてる理由 ゆっくりね

(5年)

ありがとう それが世界の 流行語
考えて あいての気持ち 知ってみよう

(6年)

ゆるしても 一生きえない 傷がある
人はみな 笑顔をいう花 咲かせてる



1年生の作品



1年生の作品

『人権発表会の感想』

・一人ひとり言いたいのに言えないことや、やってあげたいのに自分からはなかなかできないことがあるんだなと思いました。好きなものがまったく同じ人なんていないからちがう人にたいしてもあつかいをかえたりするのはだめだと思いました。そして、まわりとくらべるのもだめだと思いました。

(3年)

・この人権発表会で、今どんな人がどんな気持ちなのか考えたいと思った。いつもあんないいわるをされていたら、自分だったらたえられないと思った。みんなのそうぞうした幸せな世界がつたわってきた。楽しくすごさないと幸せはないと思った。(3年)

・6年生が言っていた作文どおり、言葉ではきずつけたり、うれしかったりいろんなことができると思った。(3年)

・校長先生が言っていた「いじめの卵」のことで、戦争の卵やいじめの卵があるなら、楽しみの卵や苦しみの卵、うれしさの卵もあるのかなあと思った。もし、あるなら、楽しみの卵やうれしさの卵を育てて、くるしみやいじめの卵は育てたくないと思った。(4年)

・世界では、今でもいじめ、戦争、かげ口、仲間はずれをしている人がいる。この4つは、どんな理由があってもぜったいにやってはいけない。ぼくは、これからも今までのように人を大切にして、仲良く生きてみたいです。(4年)

・これからも「言葉」を大事にしたいと思いました。友だちや先生、家族と話すとき、発言する前に、その言葉はだれがきずつくかや、不快に思わないかを考えたいです。それに、今いる友だちを大切にしたいと思った。私がこれから生きていくうえで関わる人に感謝して生きていきたいです。(5年)

・みんなが言ったことを大切に生きていこうと思った。みんなが言っていたように苦しんでいる人たちを見かけたら自分が「どうしたん？」って声をかけようと思った。自分一人が幸せで笑っても他の人が苦しんでいたら世界中の人が幸せとは言えないということを今日の人権発表会で教えてくれたから、みんなが笑えて幸せになるように少しずつ少しずつ努力しようと思った。(5年)

・発表した一人ひとりの気持ちが一文一文に込められていると思いました。一人ひとりやっぱり考え方が違うけど、人を大切にして笑顔で毎日を過ごそうという思いは同じだなと思いました。低学年のポスターでは、工夫が詰まっていると感じ、高学年では、まっすぐな考えを感じ上手だなと思いました。(6年)

・発表を聞いていて思ったことは、みんな世界のことを考えているんだなと思った。みんな戦争の卵を持っているけれど、それを生むのは一部の人。みんな戦争をしたいと思っていないけど、その一部の人に流されず、自分の意見を大切にしたいと私は思います。自分の意見は人それぞれ、それぞれの意見が一つになるまで、私はぜったいに戦争の卵は生まない。(6年)



3年生の作品



3年生の作品

◎人権学習会 『追手門学院大学留学生との交流（1・2・5・6年）』の感想

- 中国の人は 日本の人になにしている人もいるのが分かった。中国では、やきゅうは人気がないけどたつきゅうは人気があるのがわかった。日本で「おはよう」と言うのは、「ゾウシャンハアウ」と言うのが分かった。（2年）
- いろんな国によってその国の食べ方や交通ルールなどがあつた。国によっていろんな事がちがうからいろんな国へ行ってみたくなつた。（5年）
- ベトナムの食べ方でさいごの一口はのこすといつていたのでもつたいないと思つたけど、かんしゃの気持ちを伝えるためにやつているので、日本とはぜんぜんちがう。（5年）
- 日本とはまったくちがう文化やきまりなど多かつた。「あたりまえ」がベトナムではちがうなどとても興味がわいた。外国の文化を受け入れられるようになりたい。（5年）
- 中国の文化、韓国の文化、アメリカの文化を知れた。韓国に行つてみたいとなつと思つた。もう1時間ぐらい話して欲しかつたです。これからも今日話してもらつたことを心に入れておこうと思つました。（6年）
- 話を聞いて、将来海外に行つてみたいとなつと思つました。（6年）
- 日本はいいイメージがあると言つてくれてうれしかつたです。中身も優しくなれるようにしたいです。（6年）

『保護者の方からベトナムの文化について学んだ（3・4年生）』感想

- 「こんにちは」をシンチャオといふのを、はじめて知つた。考え方が自分とちがう人でも、一回話しかけてみたらいいと思つた。（3年）
- ベトナムのおかしが日本とほとんど同じなんて意外だつた。めんも、米で作られているなんて知らなかつた。おいしそうなごはんがあつて、もうちょっと調べてみたくなつた。自分とちがう人がいても、話せばなかよくなれると思ふ。もっと、ベトナムのことを知りたい。（3年）
- 牛肉のフォーをきゅう食で食べたことがあつたけど、ベトナムの料理だつてことをはじめて知つてびっくりした。文化や言葉がちがつても、みんなで楽しくなかよくできるようにしたい。（3年）



5年生の作品



5年生の作品

- アオザイがきれいながらで、男用も見てみたかつた。（4年）
- ちがう考えを持つ人と仲良くするのは、むずかしいことです。でもお話すると、親しくなれると思ふ。（4年）
- 学校に通つていたころは、学校はお昼までで家に帰つてから昼食を食べていたそうです。「おはよう」や「ありがとう」をベトナム語で教えてもらつたけど難しかつたので、もしもぼくがベトナムに行つたとしたら、ふたりみたいに上手に話せないなと思つました。（4年）
- ベトナムは10年間も戦争をしていて、つらい過去があつたのですね。でも、ベトナムの食事やおやつは、とてもおいしそうで、ベトナムに行きたいななと思つました。（4年）

◎教師による読み聞かせ「わたしからありがとう」

【絵本の内容】

「ありがとう」という言葉の尊さをメインにした絵本です。山下先生と山本先生が読み聞かせました。あらずじは「ありがとう」によって、子どもたちが、そして、いじめっこといじめられっこが、つながっていくというストーリーです。

【児童の感想】

- にがてなともだちとでもしぶんからありがとうというきもちでなかよくしたいなとおもいました。ほんとうになかよくできるといいなとおもいました。（1年）
- さいしょはももちゃんがげんきだつたのに、あとからないててかわいそうやつた。ブラッキーもあとからやさしくなつて、ももちゃんがひっこしをするときに、ちゃんと手をふつておくれたから、すごいと思つました。（2年）
- きらいだつた子と学校がいやで、だけどさいごに「ありがとう」でみんなとさいごになかなおりにして、まほうの言葉だと思つました。（3年）
- 絵本の主人公のももちゃんが、いじわるなブラッキーに「ばいきん」と言われていた。ぼくは、話を聞いてひどいなと思つた。けんかをしていたら、止めてあげる。（4年）
- 心に残つた話の場面は、ももちゃんがブラッキーにプレゼントをわたす所です。その理由は、今までのことをあやまつていて、わたしがももちゃんだつたら、とてもうれしいからです。（4年）
- わたしはすぐにおこるくせがあつて、（いけない。）と思つてもつにおこつて、いじわるをしてしまいます。けんかして、その子とお話できないのもいやだからあやまる、というのをくり返してしまうのです。いじわるなことをする前に、後からどうなるかを考えていないから、けんかするのです。今自分にできることは、後からどうなるか、自分はどう思ふか。相手はどう思ふかを少しでも考えよと思つました。ブラッキーも相手の気持ちを考えていないから、後からこうかいして泣いてしまつたと思ふ。（4年）
- 先生たちの読み聞かせで、いじめをしている子がいて、自分でいじめはだめやとわかっているとは思ふけどしていたから、最後にいじめられていた子が引越す時に、ちゃんと自分のやつていた悪いことをあやまつて良かつたと思つました。（4年）
- いじめはいけないななと思つた。ユーチューブなどから言葉があれて、人を傷つけることを言つてしまうこともあるんだと知つた。自分がむしゃくしゃすることもあつるけど、人にあたるのはだめだと思つた。（4年）

